



新日本空調株式会社のご紹介

アクセラレーションプログラム未来X(mirai cross)

リバースピッチ プрезентーション資料

2022/7/31

新日本空調株式会社

0.1 μm粒子

水蒸気



実験協力 東京エレクトロン 株式会社様

表面に付着する粒子

液中の気泡・粒子

制作・著作 新日本空調 株式会社



【本日の内容】

当社の概要について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

当社から提供可能なリソース

最後に



【本日の内容】

当社について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

当社から提供可能なリソース

最後に

当社について 企業概要

■商号 Firm name

新日本空調株式会社

■本社所在地 Head Office

東京都中央区日本橋浜町2丁目31番1号

■事業内容 Business Description

空気調和、冷暖房、換気、環境保全、温湿度調整、
除塵、除菌、給排水、衛生設備、電気設備等の
設計、監理ならびに工事請負

■資本金 Capital

51億5,860万円(東証プライム市場上場)

■従業員 Employees (2022.03.31現在)

(連結)1,585名

■完工高 Construction Revenue(2021年度)

(連結)1,067億円

■企業理念 Corporate philosophy

社会と自然の調和を育み、未来へ向けた思いを満たす



浜町センタービル
(本社入居)



微粒子可視化デモルーム
(本社ビル内)

当社について 沿革

1930～1969年

創業～産業貢献

空調のパイオニアとして日本産業に貢献



- ・「技術のキヤリア」と呼ばれた米国キヤリア社と三井物産の合弁会社「東洋キヤリア工業」としてスタート。
- ・日本初の超高層ビル空調施工をはじめ、地域冷暖房、原子力施設、クリーンルームのパイオニアとして日本の産業興隆に貢献。

1990～2003年

株式上場～品質向上追求

品質向上を追求(クリーンルーム本格化/可視化技術開発)



- ・バブル崩壊による景気低迷期において、技術水準や施工品質の向上を図るべく技術研究所を設立。
- ・半導体需要増加に伴いクリーンルームの設計施工が本格化。微粒子可視化技術を開発し品質向上に貢献。

1969～1990年

分離独立～発展

新日本空調の設立、リニューアル分野醸成



- ・東洋キヤリア工業から工事事業部門を分離し「新日本空調」を設立。高度経済成長を背景に業績を拡大。
- ・空調設備の保守メンテナンス、リニューアルに注力しリニューアル工事のノウハウを構築。

2004年～現在

新たな価値創造

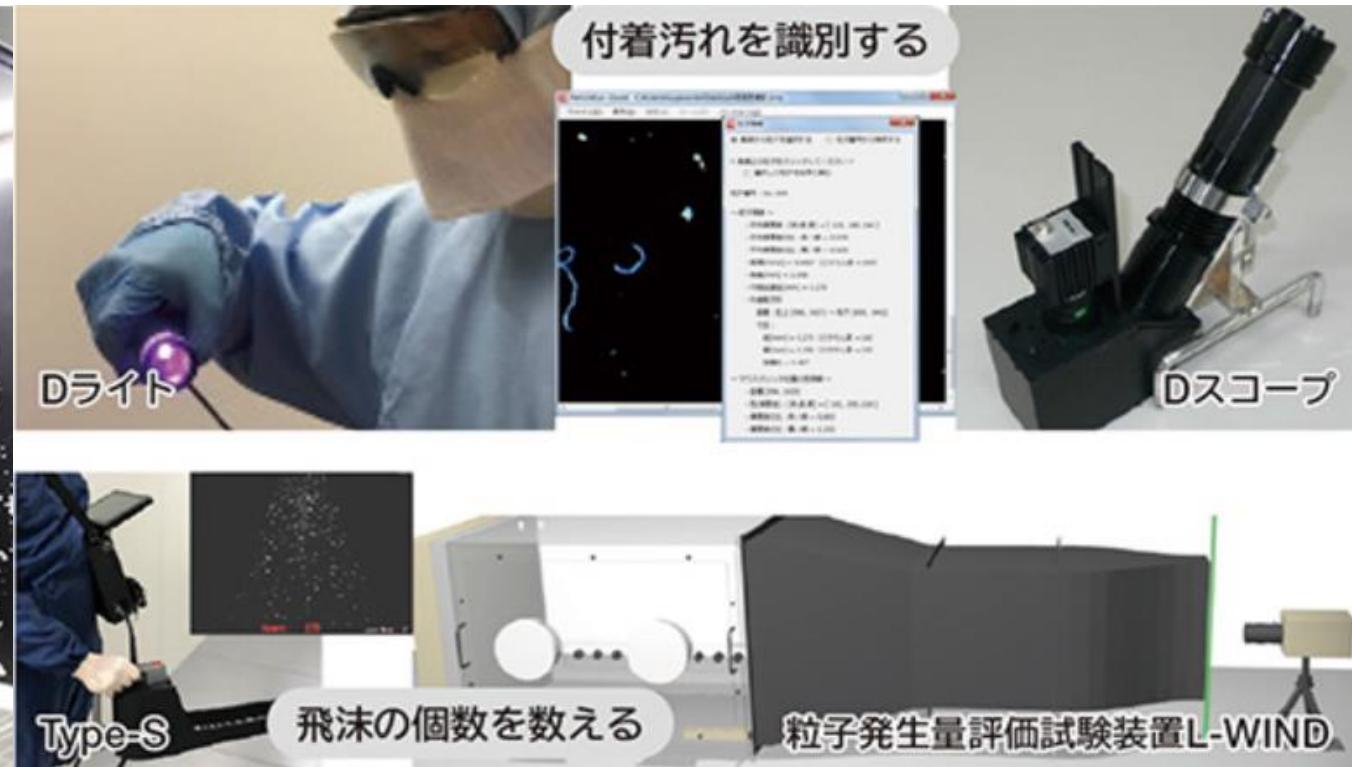
グループ経営・ワンストップソリューションの推進



- ・東日本大震災をきっかけに強まった省エネ・防減災ニーズに寄与する技術を開発。熱源最適制御システム、エアロスリー、柔ワイヤ工法等実績を積上げ。
- ・新型コロナウィルスの影響により微粒子可視化技術が再度注目を受ける。

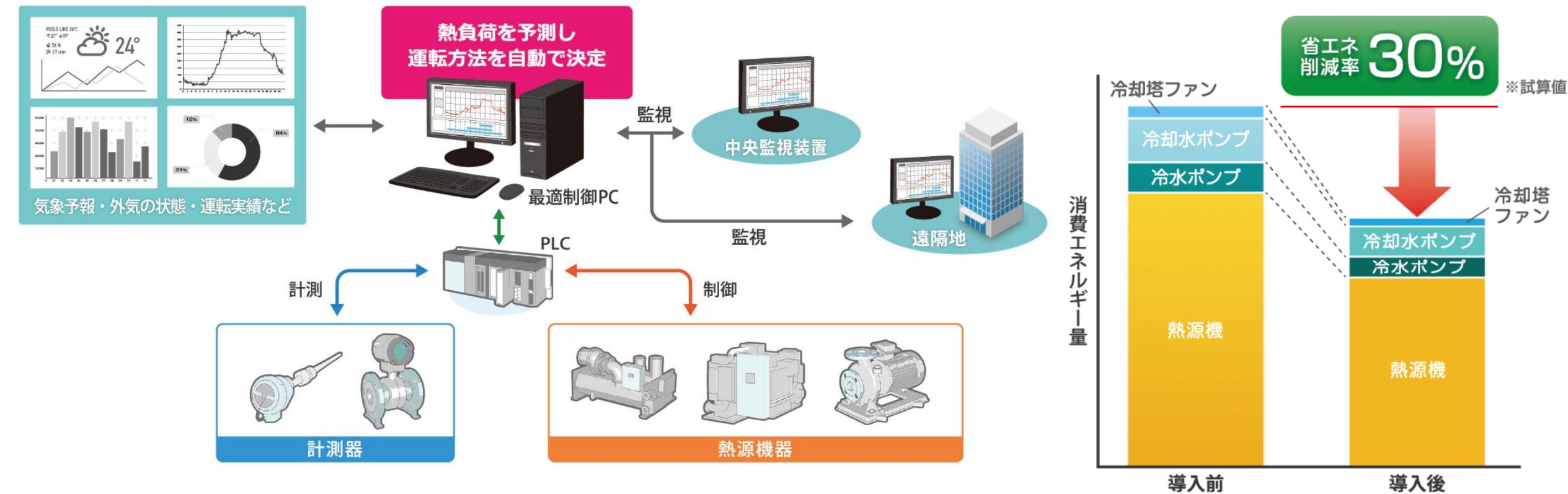
当社について 技術紹介(微粒子可視化技術)

世界最高感度の微粒子可視化システム（目に見えない埃やエアロゾルを可視化するシステム）をはじめとする独創的な可視化関連商品群と高度な受託評価サービスを提供。



当社について 技術紹介(熱源最適制御システム)

熱源機器の運用を自動的に最適化、熱源システムの能力を最大限に引き出すことで、省エネ改善率で最大30%以上を実現。





【本日の内容】

当社について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

当社から提供可能なリソース

最後に

想定し得るリスク

以下のリスクや次ページに示す課題を解決するためには、社外のパートナーとの様々な協業が不可欠であると認識しています。

No	想定し得るリスク
1	既存技術・既存事業領域では対応できない新たな社会課題の発生、社会的責任の拡大
2	規制の強化・変化や人口減少による既存事業領域の縮小
3	イノベーションの停滞、価格競争力の不足、人員不足によるビジネス機会の喪失
4	労働災害・品質事故等の増加による信用と利益の毀損

イノベーションに関する課題

No	イノベーションに関する課題
1	省エネに関する運用ベースでのソリューション力強化
2	業務の効率化(設計、現場管理、保守・メンテナンス等)
3	創エネに関する技術開発・獲得(省エネを超えたソリューションの開発)
4	空調・衛生に関する新たな付加価値の創出



【本日の内容】

当社について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

提供可能なリソース

最後に

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

下記6テーマを中心に、積極的に協業に取り組みたいと考えています。

No	取り組みたいテーマ(スタートアップ企業と実現したいこと)	スタートアップ企業に求める技術・知見(例)
1	カーボンゼロに貢献するビジネス・技術開発	ZEB・ZWB要素技術/再エネ/蓄電池/水素/アンモニア/省エネ/廃エネ/水循環/デマンドコントロール/エネルギー・マネジメント/CCUS
2	レジリエントなインフラ、建築設備全般のBCP対策等に関するビジネス・技術開発	耐震対策/浸水対策/火山灰対策/放射線災害対策/感染対策/ZEB,ZWB関連技術/現場管理システム/自立分散型エネルギー・システム/エナジー・ハーベステイング
3	スマートウェルネス・室内環境制御・現場作業環境改善	各種センシング/可視化技術/室内環境制御
4	設備管理・運用の高度化・省力化	各種センシング等による見える化/室内環境評価/パーソナライズ/遠隔監視(無人管理)/ロボット
5	設計・施工・関連業務の高度化・効率化(省力化)・最適化	DX/IoT/AI/デジタルツイン/自動作図/ロボット/新工法
6	再生医療・バイオテクノロジー普及に向けた設備対応	バリデーション/シミュレーション/バイオ3Dプリンター



【本日の内容】

当社について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

当社から提供可能なリソース

最後に

提供可能なリソース

技術開発研究所の豊富な実験設備と人的リソース・知見

技術開発研究所では、以下の通りの豊富な実験設備の活用が可能です。

- クリーンルーム(Class1)
- データセンター ラボ
- 環境試験室
- バイオケミカル実験室
- 超低露点室(露点-70度)
- 耐震実験場
- モックアップ実験場
- 多目的フィールド(実験場)

これまで異業種のメーカーや大学等との共同研究開発を行い、多くの技術を実用化してきた研究員たちとの協業を通じての支援も行っていきたいと考えています。

提供可能なリソース

豊富な実績と人的リソースを活用した実証・マーケティング等における支援

当社は建築設備システムに関する豊富なエンジニアリング・施工実績と、それを可能にしてきたマーケティング力・提案力、高い専門的知識・知見を有する設計・技術陣を擁しています。こうしたリソースを活用して、スタートアップ企業が開発した技術・サービスのPoCや実装に向けての手厚い支援を行っていきたいと考えています。また、顧客ニーズを踏まえたマーケティング側面での支援なども行っていきます。

微粒子可視化システムと、関連する評価・シミュレーション技術

微粒子可視化システムに代表される環境評価技術やCFDの活用が可能です。気流・温度・粒子・ガスなどに関する空気環境や設備システムをシミュレーションする技術も活用し、スタートアップ企業の研究開発を幅広く支援したいと考えています。

提供可能なリソース

技術開発研究所と併設の茅野研修所(長野県茅野市)

技術開発研究所



茅野研修所





【本日の内容】

当社について

リスクと課題認識

スタートアップ企業と取り組みたいテーマ

当社から提供可能なリソース

最後に

社内外のナレッジとテクノロジーを紡いで、
持続可能な地球環境とお客様資産の価値向上を実現する

